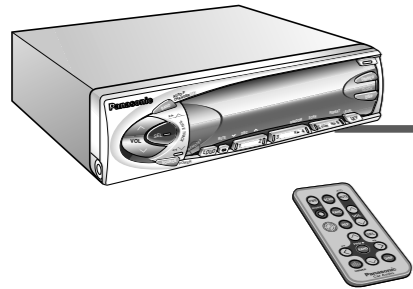


# Panasonic

MD サウンドステーション  
CD サウンドステーション

## 取扱説明書



品 番

CQ-MR5000D  
CQ-RX5000D



**CAR AUDIO**



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特長

1DINにMD(MR5000)/CD(RX5000)プレーヤー・FM/AMチューナー・40W x 4chハイパワーアンプを搭載

MDタイトルスクロール機能：MDプレーヤー、MDチェンジャー再生時(☞24ページ)  
CD-Rディスク対応：CDプレーヤー再生時(CD-Rディスクのご使用について☞28ページ)

取りはずしのできる、リムーバブルフェイス採用(☞26ページ)  
車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができる

チェンジャブルフェイスで車室内をより楽しく演出(☞27ページ)  
市販のブラックライトをあてるとディープブルーに輝き、光に応じて表情が変わる

システムアップの多彩な発展性を装備

CD/MDチェンジャーコントロール機能(☞18、36ページ)  
ツインチェンジャーコントロールユニットを接続すれば、最大2台まで同時接続できる  
ナビミュート機能(☞20、37ページ)  
カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声を消音することができる  
外部音声入力(AUX IN)付き(☞20、37ページ)  
テレビのステレオ音声をオーディオで聴くことができる  
外部アンプと接続できるリアアウト(REAR)付き(☞36ページ)

## この取扱説明書について

本書は、CQ-MR5000DおよびCQ-RX5000Dの2機種共用です。機種により機能が異なりますので、品番をよくお確かめのうえ、下表を参照してご使用ください。

品番	機能	MD	CD	コントラスト調整	表示(例)	
CQ-MR5000D			×			: 機能あり × : 機能なし
CQ-RX5000D		×		×		

### 操作の説明について

操作のしかたは、本体で説明してあり(全ての操作が可能)  
リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に記載してあります。  
「各部のなまえとはたらき」(☞8~9ページ)も併せてご覧ください。

### 製品のイラスト・表示例について

主にMR5000を例として説明しています。  
RX5000の場合は表示の形態などが一部異なります。

# もくじ

## ご使用前に

特長 .....2  
安全上のご注意 .....4  
付属品の確認と準備 .....7  
各部のなまえとはたらき .....8

## 使う

電源を入れる(基本操作).....10  
電源ON/OFF 音量調整 音源(ソース)切り替え  
パネルの開閉 時計調整 表示切り替え

ラジオを聴く .....12  
MDを聴く(MR5000のみ) .....14  
CDを聴く(RX5000のみ).....16  
チェンジャーでCD/MDを聴く .....18

## 使いこなす

便利な機能 .....20  
AUX IN ラウドネス ミュート/アッテネータ  
ナビミュート レベルメータ切り替え ディマー設定

いろいろな設定と調整 .....22  
音質(サウンド)設定 .....22  
その他の機能設定 .....24

パネルの脱着のしかた .....26  
ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ .....27

## 必要なときに

ディスクの取り扱いについて/お手入れのしかた .....28  
故障かな!? .....30

取り付け・配線の前に .....32  
本体を取り付ける .....33  
配線のしかた .....34

仕様 .....38  
アフターサービスについて .....39

1)使用前に

使いかた


必要なときに


# 安全上のご注意

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

運転者は走行中に操作をしない


 **禁止** 走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。安全な場所に停車し、操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を使わない


 **禁止** ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。

## 注意


取り付け・配線は、専門技術者に依頼する

 本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。


ヒューズの交換は、専門技術者に依頼する

 規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。


分解や改造をしない

 **分解禁止** 分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。


配線作業中はバッテリーの⊖端子を必ずはずす

 説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。


故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 音が出ない、煙が出る、変なおいがる等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。


DC12V⊖アース車で使用する

 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など(DC24V車)には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。


機器内部に異物を入れない

 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。


水をかけたり、ぬらしたりしない

 **禁止** 内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない  
ディスク挿入口に異物を入れない

 **禁止** 可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

### 運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りや妨げられると、事故やけがの原因になります。  
コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。  
車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。  
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

### 電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+ と - の向き)を確かめて、指示どおり正しく入れる。  
指定外の電池を使用しない。  
使いきった電池は、すぐに交換する。  
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。  
電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きつけたりビニール袋などに入れて絶縁する。  
充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。  
窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。  
乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

### 電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。  
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。  
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

### 主な付属品

配線・取り付け用の部品は、32ページをご覧ください。

リモコン



パナソニック  
リチウム電池 (CR2025)  
(1個)

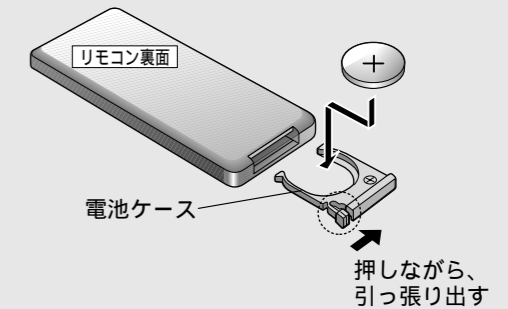


### 添付品

保証書  
お客様ご相談窓口一覧表

### リモコンに電池を入れる

#### ① 電池ケースを出して、電池を入れる



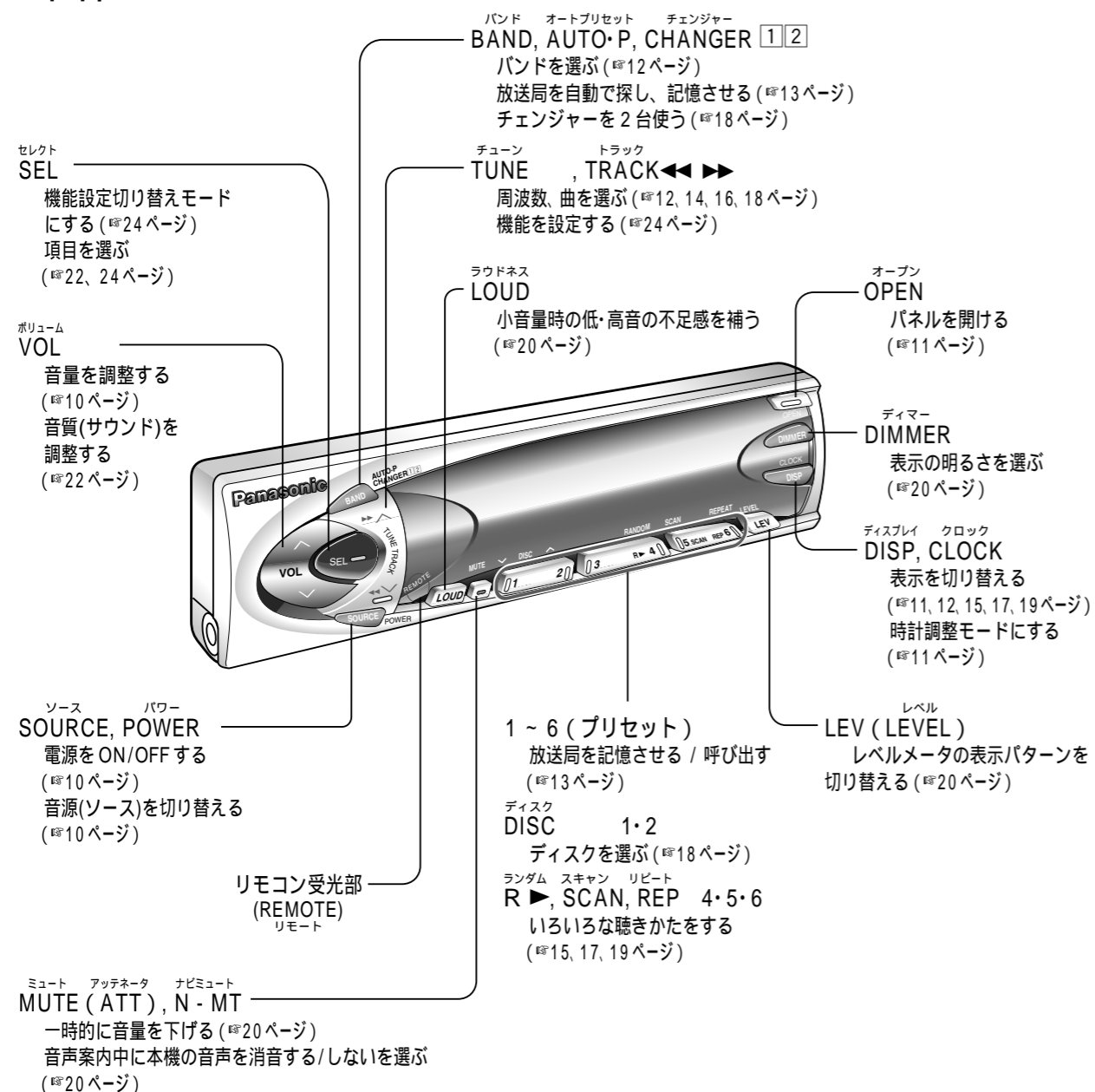
#### ② 電池ケースを入れる

### 使用する電池

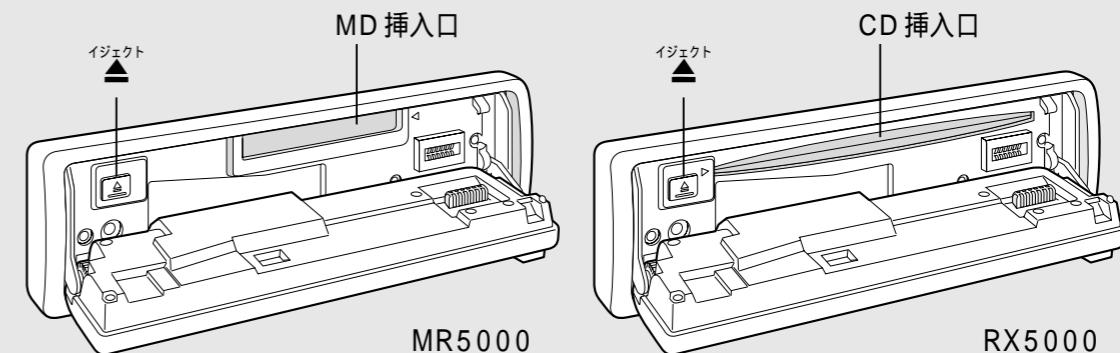
使用電池：パナソニック リチウム電池 (CR2025)  
電池寿命：通常の使用状態で約6ヶ月(常温時)

# 各部のなまえとはたらき

## 本体

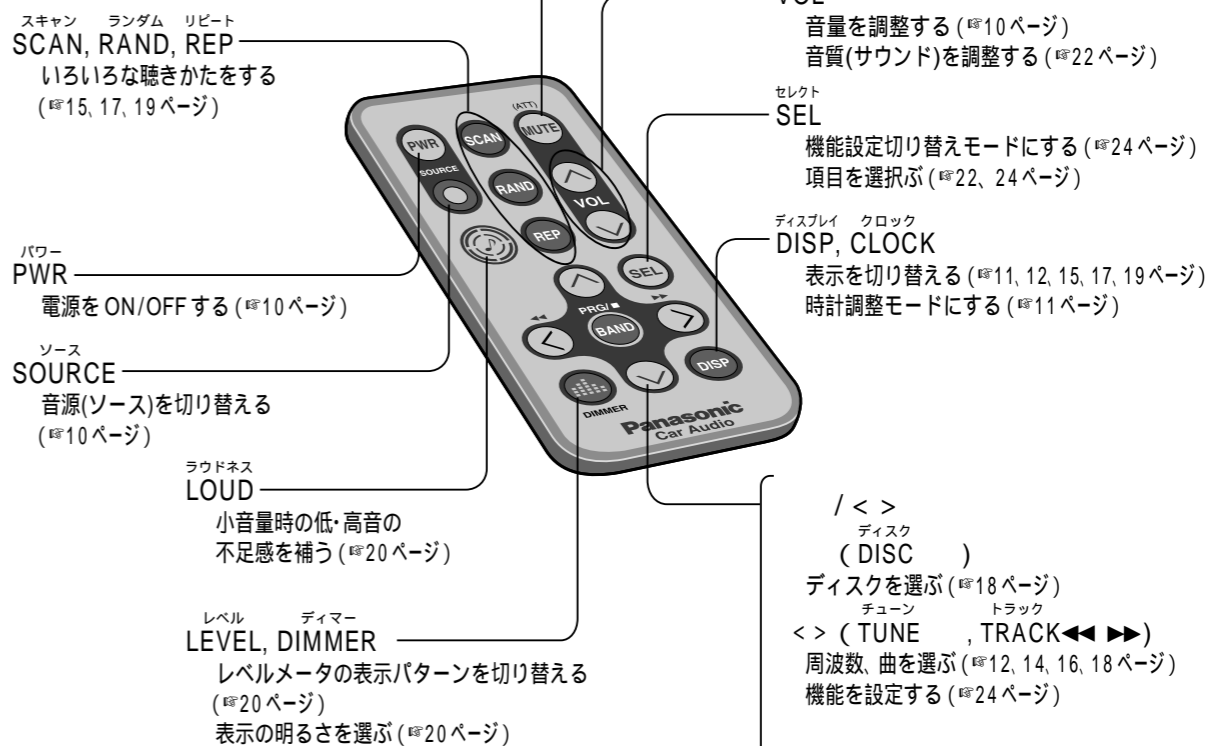


## 本体のパネル開口部



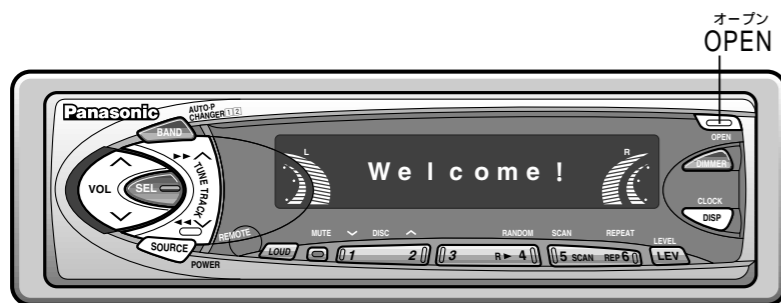
## リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



**バンド オートプリセット チェンジャー**  
**BAND, AUTO·P, CHANGER** 1 2  
 バンドを選ぶ (12ページ)  
 放送局を自動で探し、記憶させる (13ページ)  
 チェンジャーを2台使う (18ページ)

# 電源を入れる (基本操作)



**準備** 車のエンジンをかける  
(「ACC」の位置でも可)



はじめてご使用になるときは、オープニングメッセージのあとに、時計 (未調整のため「ADJUST」) が表示されます。

## 電源を入れる/切る

- ON :** **SOURCE** を押す  
(リモコンは **PWR** を押す)
- OFF :** **SOURCE** を 1 秒以上押す  
(リモコンは再度 **PWR** を押す)

### お知らせ

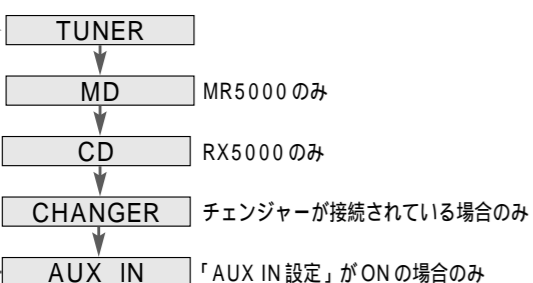
電源を入れたときに音量レベルが 20 以上になっている場合は、徐々に音量が上がります。(スムーズアップボリューム)

## 音量を調整する

**VOL** を押す  
初期設定: 20  
調整範囲: 0 ~ 40

## 音源 (ソース) を切り替える

**SOURCE** を押す

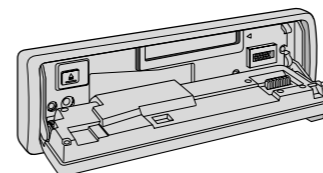


### お知らせ

ディスク (マガジン) が入っていないときは、それぞれのモードをスキップします。  
外部機器モード (AUX IN) をご使用にならない場合は、スキップさせることができます。  
(P.24 ページ)

## パネルを開閉するには

- OPEN :** 本体の **OPEN** を押す  
**CLOSE :** パネルを手で押し上げる



### お願い

パネルの開閉を妨げたり、無理な力を加えたりしないでください。

## 注意

可動部に手・指を入れない  
ディスク挿入口に異物を入れない



可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。  
特に乳幼児にご注意ください。

禁止

## 時計を調整するには

- 1** **CLOCK DISP** を 2 秒以上押して時計調整モードにする
- 2** **TRACK** で時間を調整する  
戻る 進む
- 3** ① **CLOCK DISP** で分を選び、  
② **TRACK** で調整する  
戻る 進む
- 4** **CLOCK DISP** で時刻を決定する  
通常モードに戻り、時計が動き始めます。

14:59  
未調整のときは「0:00」

15:59

15:59

15:00



ディスプレイ クロック  
**DISP(CLOCK)**  
(調整)

### お知らせ

時計は 24 時間表示です。  
電源が切れているときは、調整できません。  
MD タイトルを表示しているときは、調整できません。

## 表示を切り替える

**DISP** を押す

電源が入っているとき  
通常表示 (例: TUNER モード)  
FM1.3 81.3  
バンド・プリセット番号・周波数

時計表示  
MR5000  
RX5000

FM1 15:00

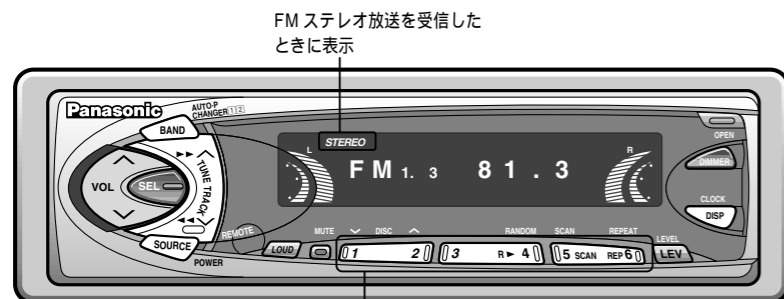
電源が切れているとき  
時計表示  
MR5000  
RX5000

OFF 15:00

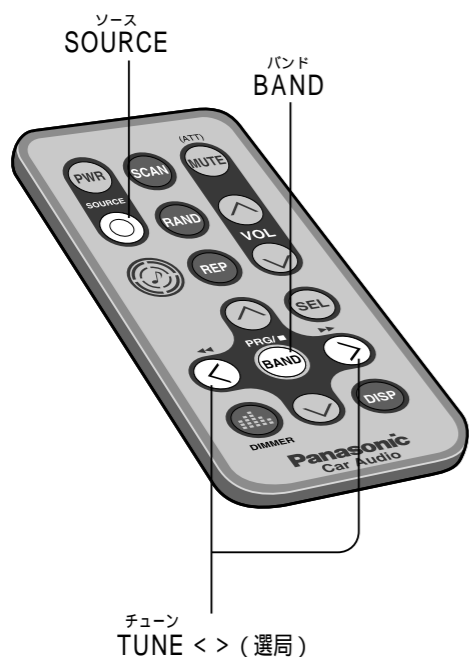
表示なし  
(パネル全体の照明も消灯される)

**お知らせ** 通常表示は、モードによって異なります。

# ラジオを聴く

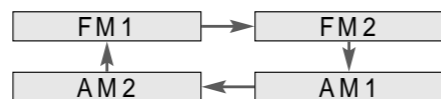


1 ~ 6 (プリセットボタン)



**1** SOURCE を押して、**TUNER モードにする**

**2** BAND を押して、**バンド選び**



**3** TUNE を押して、**放送局を選ぶ**  
(リモコンは <> 押す)

自動選局(シーク)したいときは...

0.5 秒以上押す

ボタンを離れた時点から選局を始め、受信すると止まります。  
(押し続けている間は、早送り/早戻し)

## 表示を切り替える



DISP を押す



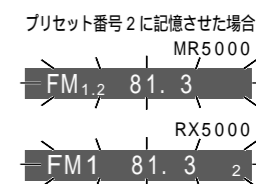
## 放送局を記憶させるには

各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大 6 局まで記憶させることができます。

放送局を一つずつ記憶させる (プリセットメモリ)

バンドと周波数を選び、(左ページ) 本体の 1 ~ 6 を 2 秒以上押す (プリセットボタン)

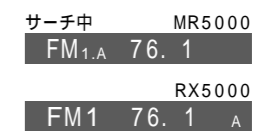
表示が 1 回点滅し、受信している放送局が記憶されます。



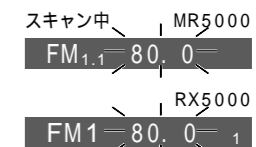
放送局を自動で探し、記憶させる (オートプリセットメモリ)

バンドを選び、(左ページ) BAND を 2 秒以上押す

受信状態のよい順に記憶されます。(A: プリセット番号)



終了すると、記憶された放送局が約 5 秒ずつスキャンされます。放送局を選んでください。本体の 1 ~ 6 を押す (プリセットボタン)



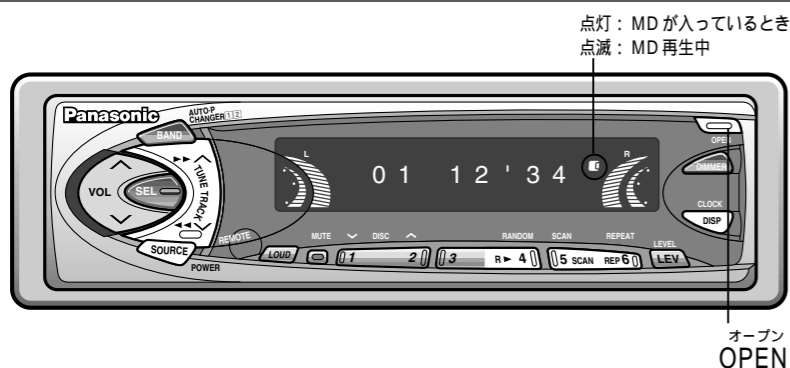
**お知らせ** 記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

記憶された放送局を呼び出す

バンドを選び、(左ページ) 本体の 1 ~ 6 を押す (プリセットボタン)

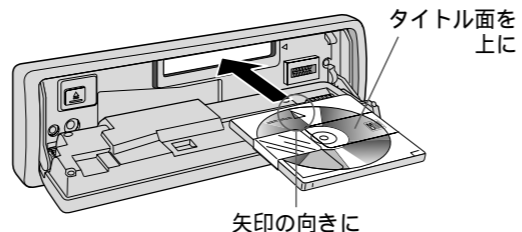
# MD を聴く

MR5000のみ



## MDを入れる

- ① 本体の **OPEN** を押してパネルを開き、
  - ② MDを入れて、パネルを閉める
- 再生が始まり、パネルを閉めると音声が出力されます。



MDが入っているときは...

- 1 **SOURCE** を押して、**MDモードにする**

- 2 **TRACK** を押して、**曲を選ぶ**

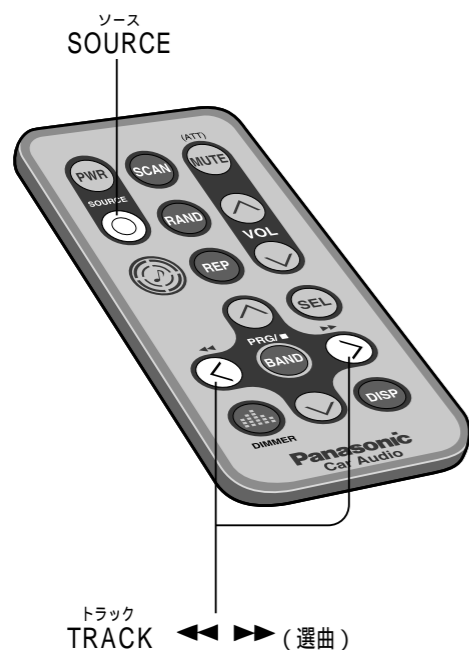
早送り/早戻しをしたいときは...  
0.5秒以上押し続ける  
押し続けている間、送り/戻しされます。

MDを取り出すには

パネルを開いて、本体の **▲** を押す

### お知らせ

電源が切れているときにMDを入れると、電源が入ります。  
MDモード中に取り出すと、電源が切れます。



### お願い

MDの挿入方向と表裏をご確認ください。無理に入れると、故障の原因になります。パネルの開閉を妨げたり、無理な力を加えたりしないでください。

## 注意

可動部に手・指を入れない  
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。  
特に乳幼児にご注意ください。

## いろいろな聴きかた

順不同に聴く  
(ランダム)

**R▶** を押す  
(リモコンは **RAND** 押す)  
(再度押すと、解除)

**RAND**

曲を探す  
(スキャン)  
約10秒ずつ再生する

**SCAN** を押す  
(再度押すと、解除)

**SCAN**

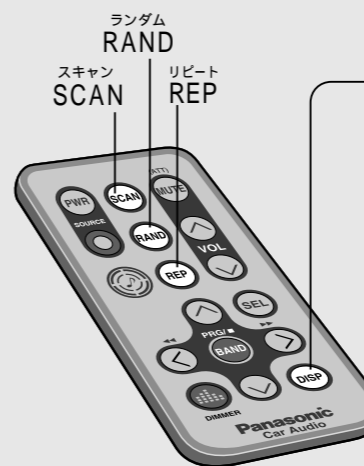
一周すると...  
もとの曲の始めに戻る

繰り返し聴く  
(リピート)  
再生中の曲を  
繰り返し再生する

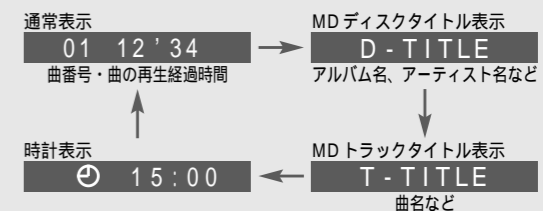
**REP** を押す  
(再度押すと、解除)

**REP**

## 表示を切り替える



**DISP** を押す



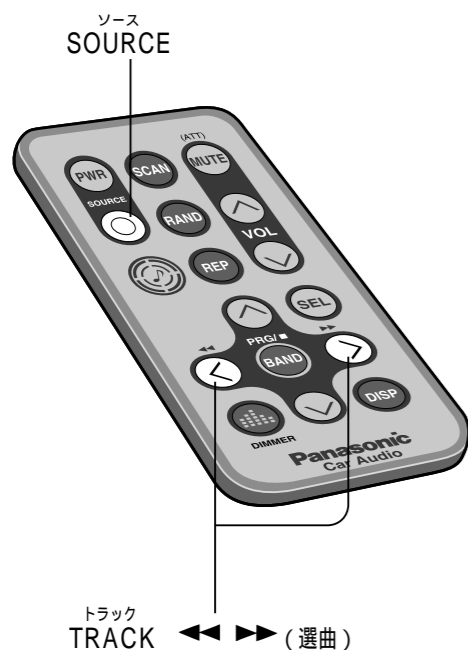
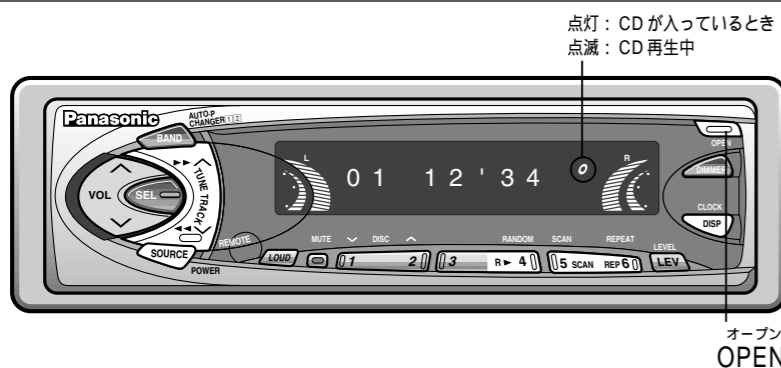
### お知らせ

MDタイトル情報は、カナ・英数字で表示されます。(スクロール時の最大表示: 60文字)  
「NO TITLE」と表示されたときは...  
MDにタイトル情報が記録されていません



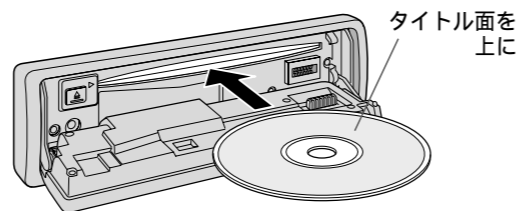
# CD を聴く

## RX5000のみ



### CDを入れる

- ① 本体の **OPEN** を押してパネルを開き、
  - ② CDを入れて、パネルを閉める
- 再生が始まり、パネルを閉めると音声が出されます。



CDが入っているときは...

- ① **SOURCE** を押して、**CDモードにする**

- ② **TRACK** を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しをしたいときは...  
0.5秒以上押し続ける  
押し続けている間、送り/戻しされます。

CDを取り出すには  
パネルを開いて、本体の **▲** を押す

**お知らせ**  
電源が切れているときにCDを入れると、電源が入ります。  
CDモード中に取り出すと、電源が切れます。

#### お願い

CDの挿入口に、MDを入れないでください。  
パネルの開閉を妨げたり、無理な力を加えたりしないでください。

### ⚠ 注意

可動部に手・指を入れない  
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。  
特に乳幼児にご注意ください。

### いろいろな聴きかた

順不同に聴く  
(ランダム)

**R▶** を押す  
(リモコンは **RAND** 押す)  
(再度押すと、解除)

**RAND**

曲を探す  
(スキャン)  
約10秒ずつ再生する

**SCAN** を押す  
(再度押すと、解除)

**SCAN**

一周すると...  
もとの曲の始めに戻る

繰り返し聴く  
(リピート)  
再生中の曲を  
繰り返し再生する

**REP** を押す  
(再度押すと、解除)

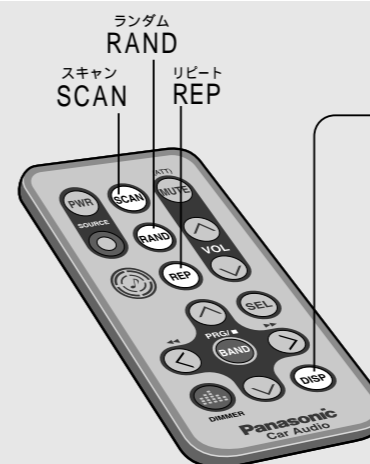
**REP**

### 表示を切り替える

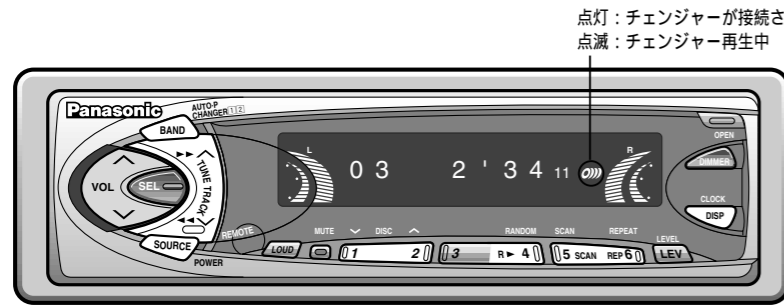
**DISP** を押す

通常表示  
01 12 ' 34  
曲番号・曲の再生経過時間

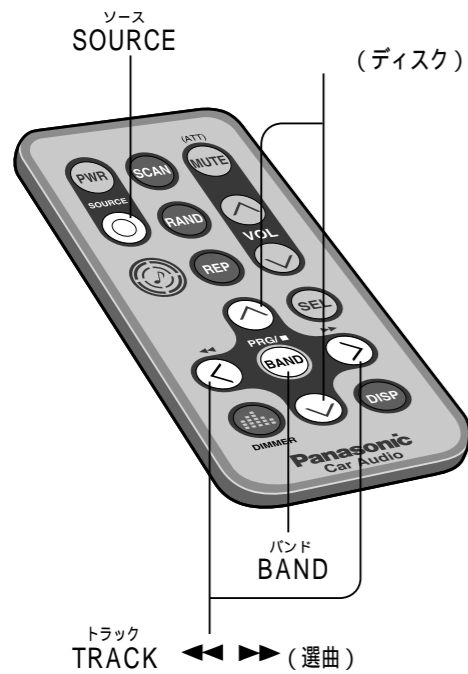
時計表示  
CD 15:00



# チェンジャーでCD/MDを聴く



点灯：チェンジャーが接続されているとき  
点滅：チェンジャー再生中



**準備** CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続する。(P.36 ページ)

## 1 SOURCE を押して、CHANGERモードにする

「NO DISC」と表示されたときは...  
マガジンにディスクを入れてください。

## 2 DISC 1 2 を押して、ディスクを選び

(リモコンは □ □ 押す)

## 3 TRACK ◀ ▶ を押して、曲を選ぶ

早送り/早戻しをしたいときは...

0.5 秒以上押し続ける

押し続けている間、送り/戻しされます。

### お知らせ

電源が切れているときにマガジン(ディスク)を入れると、電源が入ります。

CHANGERモード中にマガジン(ディスク)を取り出すと、電源が切れます。

## チェンジャーを2台使う場合は(ツインチェンジャー)

### 準備

ツインチェンジャーコントロールユニットで、CDチェンジャーやMDチェンジャーを2台接続する。(P.36 ページ)

CHANGER 1 2

**BAND** を押して切り替える

**1 2** — チェンジャー番号

選択されている方が、点滅します。

チェンジャーの中にマガジン(ディスク)が入っていないときに切り替えると、電源が切れます。

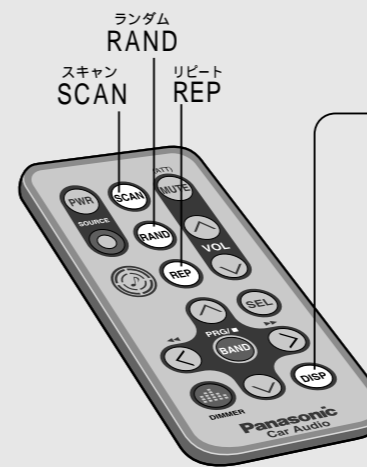
### お知らせ

マガジン(ディスク)を取り出すと...  
もう一方のチェンジャーに切り替わる

## いろいろな聴きかた

順不同に聴く (ランダム)	全ての曲	R▶ を押す (リモコンは <b>RAND</b> 押す) (再度押すと、解除)	<b>RAND</b>
	再生中のディスク	R▶ を2秒以上押す (リモコンは <b>RAND</b> 2秒以上押す) (再度2秒以上押すと、解除)	<b>RAND</b>
曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ再生する	全ての曲	<b>SCAN</b> を押す (再度押すと、解除)	<b>SCAN</b> 一周すると... もとの曲の始めに戻る
	ディスクの1曲目	<b>SCAN</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	<b>SCAN</b> 一周すると... もとのディスクの始めに戻る
繰り返し聴く (リピート)	再生中の曲	<b>REP</b> を押す (再度押すと、解除)	<b>REP</b>
	再生中のディスク	<b>REP</b> を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	<b>REP</b>

## 表示を切り替える



**DISP** を押す

通常表示  
03 2' 34.11  
曲番号・曲の再生経過時間・ディスク番号

MDディスクタイトル表示  
D-TITLE  
アルバム名、アーティスト名など

MDトラックタイトル表示  
T-TITLE  
曲名など

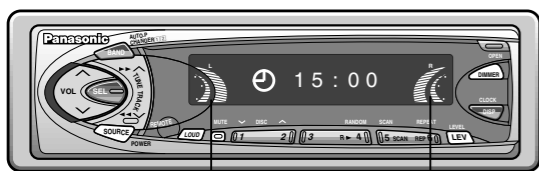
時計表示  
15:00

### お知らせ

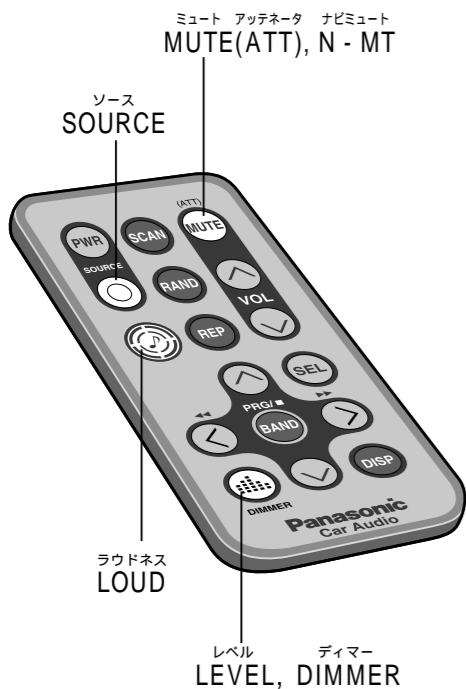
ディスクおよびトラックタイトル情報は、MDチェンジャーが接続されている場合のみ表示されます。(スクロール時の最大表示：60文字)

「NO TITLE」と表示されたときは...  
MDにタイトル情報が記録されていません  
RX5000に接続されている場合は...  
・カナ文字がローマ字で表示されます  
・アルファベットの小文字が大文字になります

# 便利な機能



レベルメータ表示部



## 外部機器を組み合わせ て音声を聴く

準備 外部音声入力(AUX IN)に  
テレビ音声等を接続する。  
( 37 ページ)

**SOURCE** を押して、外部機器モード (AUX IN) にする

**AUX IN** と表示されます。

## 小音量時の 低・高音の不足感を補う (ラウドネス)

初期設定：LOUD OFF

**LOUD** を押して、切り替える

(リモコンは を押す)

**LOUD ON** : 小音量の時に低・高音を強調する

**LOUD**

**LOUD OFF** : 通常の音量

## 一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)

初期設定：MUTE OFF

(ATT)  
**MUTE** を押す

(再度押すと、解除)

音量の下がりかたは、機能設定によって異なります。  
(ミュート/アッテネータ設定 24 ページ)

ミュート  
MUTE : 音量が 0 になる (消音)

アッテネータ  
ATT : 約 1/10 の音量になる

ミュート/アッテネータ中は、  
表示部の文字が点滅します。

**MUTE**

**MUTE**

**MUTE**

**ATT**

「ATT」は表示部で文字が点滅します。インジケータには表示されません。

## 音声案内中に本機の音声を 消音する/しないを選ぶ (ナビミュート設定)

初期設定：N - MT ON

準備 本機とカーナビゲーションのナビ  
ミュートコードどうしを接続する。  
( 37 ページ)

**MUTE** を 2 秒以上押して、切り替える

**N - MT ON** : 一時的に音量が 0 になる (消音)

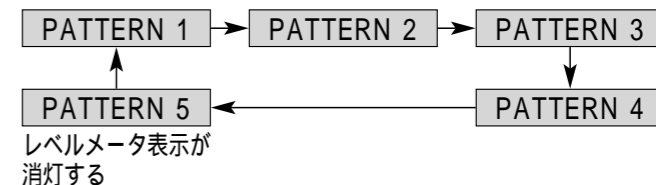
ナビミュート(音声案内)中は、**N - MUTING** と表示されます。

**N - MT OFF** : 通常の音量のまま

## レベルメータの 表示パターンを切り替える (レベルメータ切り替え)

初期設定：PATTERN 1  
パターン数：5 種類

LEVEL  
**LEV** を押して、切り替える  
(リモコンは を押す)

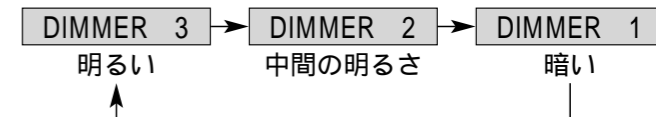


## 表示の明るさ(バックライト) を選ぶ (ディマー設定)

初期設定：DIMMER 2 (点灯時)  
DIMMER 3 (消灯時)  
設定範囲：3 段階

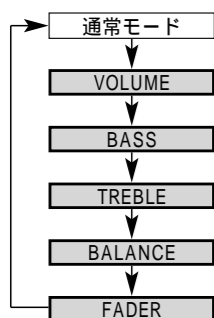
**DIMMER** を押して、切り替える  
(リモコンは を 2 秒以上押す)

車のスモールランプ点灯時/消灯時で、それぞれの表示  
の明るさを設定してください。



# いろいろな設定と調整

## 音質 (サウンド) 設定



### お知らせ

各項目が表示されている間に操作しないと...  
 (音量調整は約 2 秒間、その他は約 5 秒間)  
 通常モードに戻ります  
 通常モードに戻すには...  
 DISP 押す

1 SEL を押して  
 サウンド設定の項目を選び、

### 音量を調整する (メインボリューム)

初期設定 : 20  
 調整範囲 : 0 ~ 40 (1ステップずつ)

2 VOL で調整する

音量を調整する

VOL 20

### お知らせ

メインボリュームは、サウンド設定モード  
 へ切り替えずに調整できます。

通常モードで VOL 押す

### 低音域のレベルを調整する (バス)

初期設定 : 0 dB  
 調整範囲 : - 12 dB ~ + 12 dB (3 dB ずつ)

「+」: 低音レベルが上がる

BASS + 12dB

「-」: 低音レベルが下がる

BASS - 12dB

### 高音域のレベルを調整する (トレブル)

初期設定 : 0 dB  
 調整範囲 : - 12 dB ~ + 12 dB (3 dB ずつ)

「+」: 高音レベルが上がる

TRE + 12dB

「-」: 高音レベルが下がる

TRE - 12dB

### 左右の音量レベルを調整する (バランス)

初期設定 : CNT (センター : 0)  
 調整範囲 : L/R 各 1 ~ 15  
 (1ステップずつ)

R (RIGHT) : 右側が強調される

BAL R 10

L (LEFT) : 左側が強調される

BAL L 10

### 前後の音量レベルを調整する (フェダー)

初期設定 : CNT (センター : 0)  
 調整範囲 : F/R 各 1 ~ 15  
 (1ステップずつ)

F (FRONT) : 前方が強調される

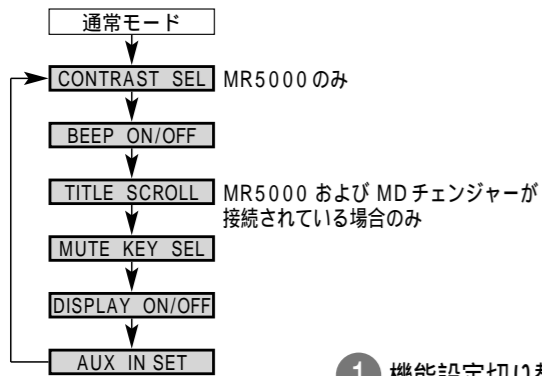
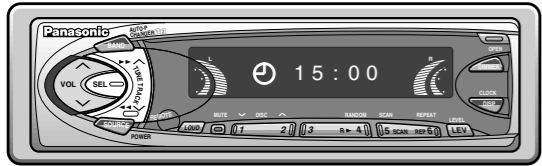
FAD F 10

R (REAR) : 後方が強調される

FAD R 10

# いろいろな設定と調整

**1** SEL を 2 秒以上押して  
機能設定切り替えモードにする



**1** 機能設定切り替えモードで  
**2** 項目を選び、

**3** 設定する

## お知らせ

MR5000 や MD チェンジャーをご使用でないときは、それぞれの項目をスキップします。

各項目が表示されている間(約 10 秒間)に操作しないと...

通常モードに戻ります

通常モードに戻すには...

DISP 押す

**2** SEL で項目を選び、

**MR5000 のみ**  
表示のめりはり(コントラストの差)を選ぶ  
(コントラスト設定)  
初期設定 : CONTRAST3  
調整範囲 : 1 ~ 5 (5 段階)

ボタンを押したときの音  
(操作音)のあり/なしを選ぶ  
(ビープ音設定)  
初期設定 : BEEP ON

**MR5000, MD チェンジャー接続時のみ**  
MD のタイトル表示がスクロールする/しないを選ぶ  
(MD タイトルスクロール設定)  
初期設定 : SCRL 1 (MR5000)  
SCRL ON (RX5000)

MUTE ボタンを押したときの音量の下がりかたを選ぶ  
(ミュート/アッテネータ設定)  
初期設定 : MUTE

ディスプレイ全体の照明を点灯する/しないを選ぶ  
(オールディスプレイ オフ設定)  
初期設定 : DISP ON

外部音声入力 (AUX IN) を使用する/しないを選ぶ  
(AUX IN 設定)  
初期設定 : AUX ON

## その他の機能設定

**3** TUNE 〇〇 で設定する (リモコンは < > を押す)

CONTRAST1 コントラストの差が小さい  
CONTRAST2  
CONTRAST3  
CONTRAST4  
CONTRAST5 コントラストの差が大きい

取り付けた角度に応じて、表示が見やすくなるように調整してください。

BEEP ON : 操作音あり  
BEEP OFF : 操作音なし

MR5000	RX5000
SCRL 1 : 連続してスクロールする (滑らかに動く)	SCRL ON : 連続してスクロールする
SCRL 2 : 連続してスクロールする (少しずつ動く)	SCRL OFF : 一周スクロールしたあと、静止する
SCRL OFF : 一周スクロールしたあと、静止する	

再度、表示をスクロールするには... DISP を 2 秒以上押す

選択されている方が、点滅します。  
MUTE / ATT : 0 (無音) になる  
MUTE / ATT : 約 1/10 に下がる

DISP ON : 点灯する (通常の照明)  
DISP OFF : 点灯しない (全消灯)  
操作すると照明が点灯し、約 5 秒後に再び消灯します。

AUX ON : AUX IN を使用する (モード遷移する)  
AUX OFF : AUX IN を使用しない (モード遷移しない : スキップする)

使いかた

# パネルの脱着のしかた

リムーバブルフェイス

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。  
パネルを取りはずす前に、必ず電源を切ってください。

## ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ

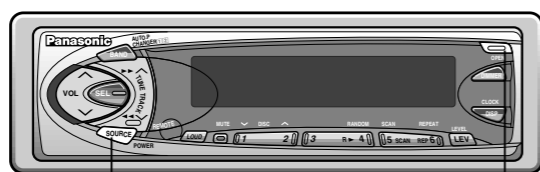
別途購入・取り付けが必要です。

ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディープブルーに光り、浮かび上がります。

お願い

ブラックライトは、本機から20cm以上離して取り付けてください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

## 取りはずしかた

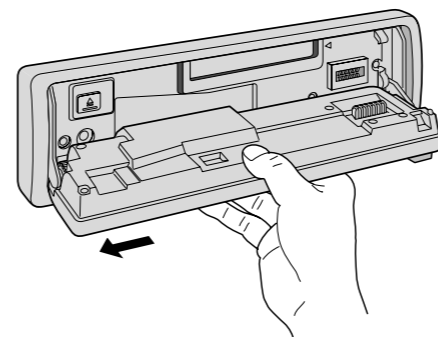


① 電源を切る

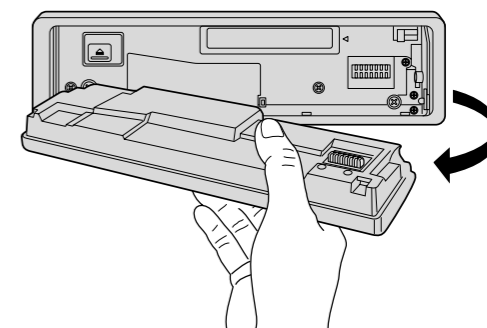
POWER  
SOURCE を1秒以上押す  
(リモコンは PWR を押す)

② パネルを開く

本体の OPEN を押す

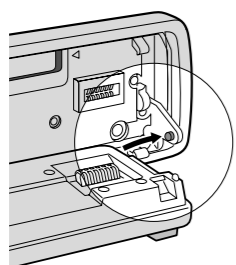


③ 左に押しながら、

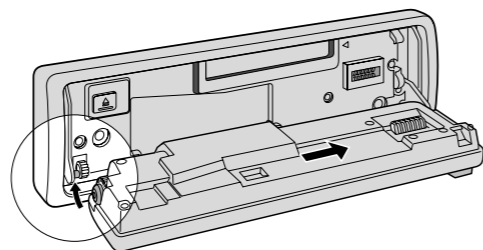


④ 手前に引く

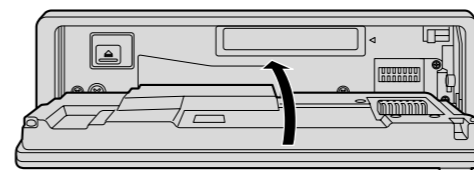
## 取り付けかた



① パネルの右端を  
本体に差し込む



② 右に押しながら、パネルの  
左端を本体に差し込む



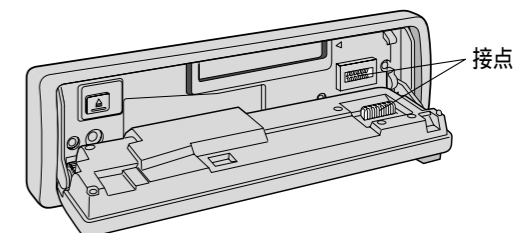
③ パネルを閉める

お願い

パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。

気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。

本体とパネルの接点には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。



使いかた

# ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた

## MD (ミニディスク)

### 使用できる MD

録音済みの音楽用 MD をご使用ください。



### MD が汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。

### 取り扱いのお願い

MD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- シャッターを開けない  
無理に開けると破損することがあります。  
中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかった MD は使用しない
- 本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

## CD (コンパクトディスク)

### 使用できる CD



のマークが入っているものを、ご使用ください。

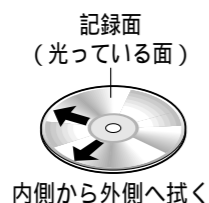
### 持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



### CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭きます。



### 取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- 紙やシールを貼らない
- 本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

### CD-R ディスクのご使用について

再生可能な CD-R ディスクは、音楽が録音された CD-R に限ります。

CD レコーダーで記録した CD-R ディスクは、その特性・キズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。

ファイナライズ処理されていない CD-R ディスクは再生できません。

CD-RW (リライタブル) ディスクは再生できません。CD-R ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上のご注意を必ずお守りください。

MP3 ファイル、ビデオ CD、CD-ROM ディスクなどは再生できません。

市販のラベルプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクは使用しないでください。

## ディスクの保管について

### 長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。  
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

### 次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたる場所(車のシート、ダッシュボードの上など)  
湿気やゴミ・ほこりの多いところ  
暖房器具の熱が直接あたる場所

## お手入れのしかた

### 本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、避けてください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

## ⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状の CD や、プロテクトフィルムやスタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

# 故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
<b>電源</b>		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。	10 34 ~ 37
	電源を入れても、表示が消えてしまう。 オールディスプレイオフ設定が「ON」になっていませんか? ディスプレイの表示が全て消灯されるので、電源が切れているように見えます。設定をお確かめください。	24
	ヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	39
<b>ラジオ</b>		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか、お確かめください。放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 12
プリセットしたはずの放送局が解除されている	バッテリーコードを、常時通電している端子に接続してください。	34
<b>リモコン</b>		
ボタンを押しても動作しない	電池の極性(+)(-)をお確かめください。	7
	電池が消耗している。交換してください。	7
	リモコン受光部に向けて操作してください。	8

症状	原因と処置	ページ
<b>CD/MD</b>		
ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される	ディスクを正しい面と向きで入れてください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 音楽用(録音されている)ディスクをご使用ください。	14、16 28 28
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ 角度を30°以内に調整し、しっかり取り付けてください。	28 32
<b>共通</b>		
音声のみで、表示が出ない	オールディスプレイオフ設定が「ON」になっている「OFF」にしてください。	24
音が出ない	音量を上げてください。	10
	ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。	20 -
前後左右の何れかの音が出ない	バランス、フェダーを適切に調整してください。 各コードの接続をお確かめください。	22 34 ~ 37
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続をお確かめください。	34
雑音が出る	携帯電話を本機から離してください。	-

## こんな表示が出たときは

表示例	原因と処置
- E1 -	チェンジャーの場合は E1、E2の前にエラーになっているディスク番号が表示され、自動的に次のディスクに切り替わります。
- E2 -	MDまたはCDの場合は 5秒間のエラー表示後、電源が切れます。
- E3 -	MD PLEASE EJ CD PLEASE ← → CD EJECT 1秒間隔
NO DISC	ディスクがチェンジャー(マガジン)に入っていない。 ディスクを入れてください。

## 万一、異常(ヒューズの溶断など)が起これば

すぐに電源を切ってください。  
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。  
お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。



# 取り付け・配線の前に

# 本体を取り付ける

## ⚠ 注意

### 分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火・感電・故障の原因になります。

### 取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

### 配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

#### 配線関係

品名	個数
本体	1
電源コード	1

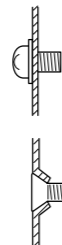
#### 取り付け関係

品名	個数
特殊座付きねじ ( 5 × 8 mm )	4
特殊皿ねじ ( 5 × 8 mm )	4
スペーサー	2
両面テープ	2

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

#### お願い

本機の実取り付けねじの長さは 8 mm です。必ず付属ねじをご使用ください。  
付属ねじは、取り付け金具 ( ブラケット ) の穴形状に合わせて選んでください。



特殊座付きねじ(4本)

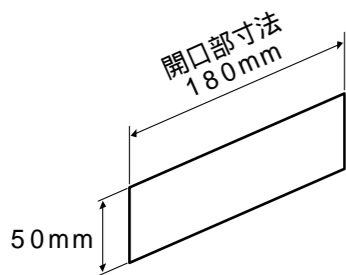
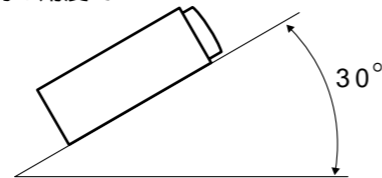
特殊皿ねじ(4本)

ダッシュボードの形状や取り付け部の寸法によって、取り付けられない場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

オーディオスペースが DIN サイズ ( 横 180 mm、縦 50 mm ) でない場合には、販売店にご相談ください。

#### お願い

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



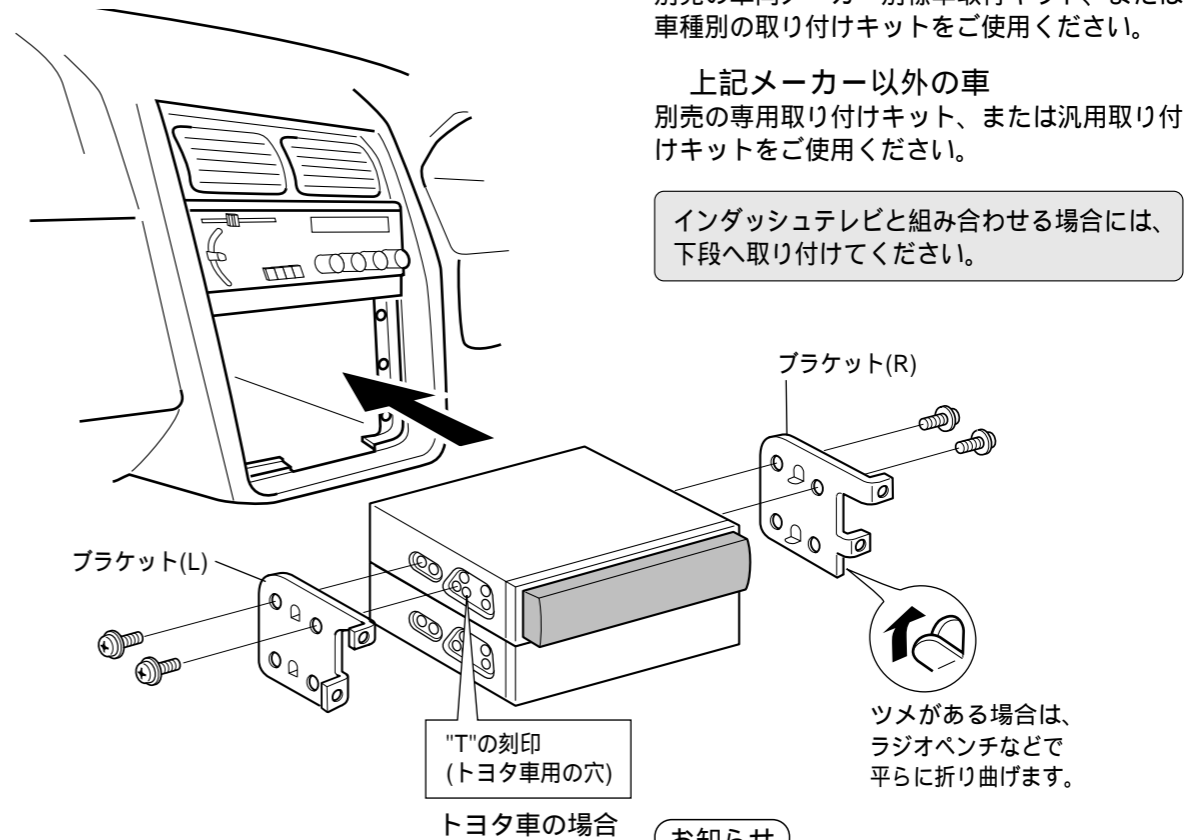
使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

トヨタ車 ( DIN サイズ採用車 )  
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車 ( DIN サイズ採用車 )  
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

上記メーカー以外の車  
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

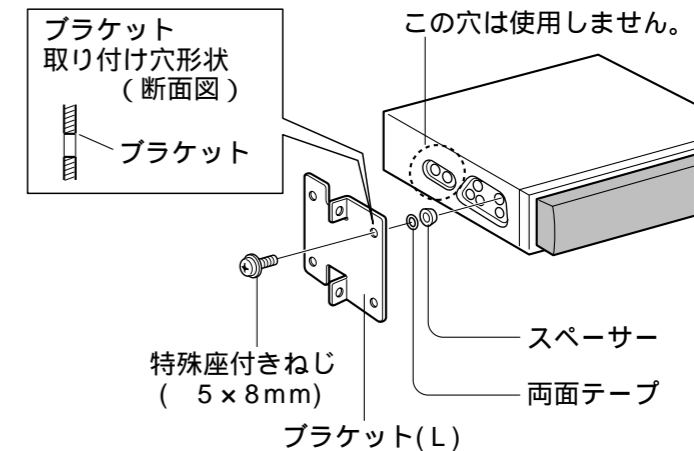
インダッシュテレビと組み合わせる場合には、下段へ取り付けてください。



#### お知らせ

別売のコネクター付コード ( 車両メーカー別 ) をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。

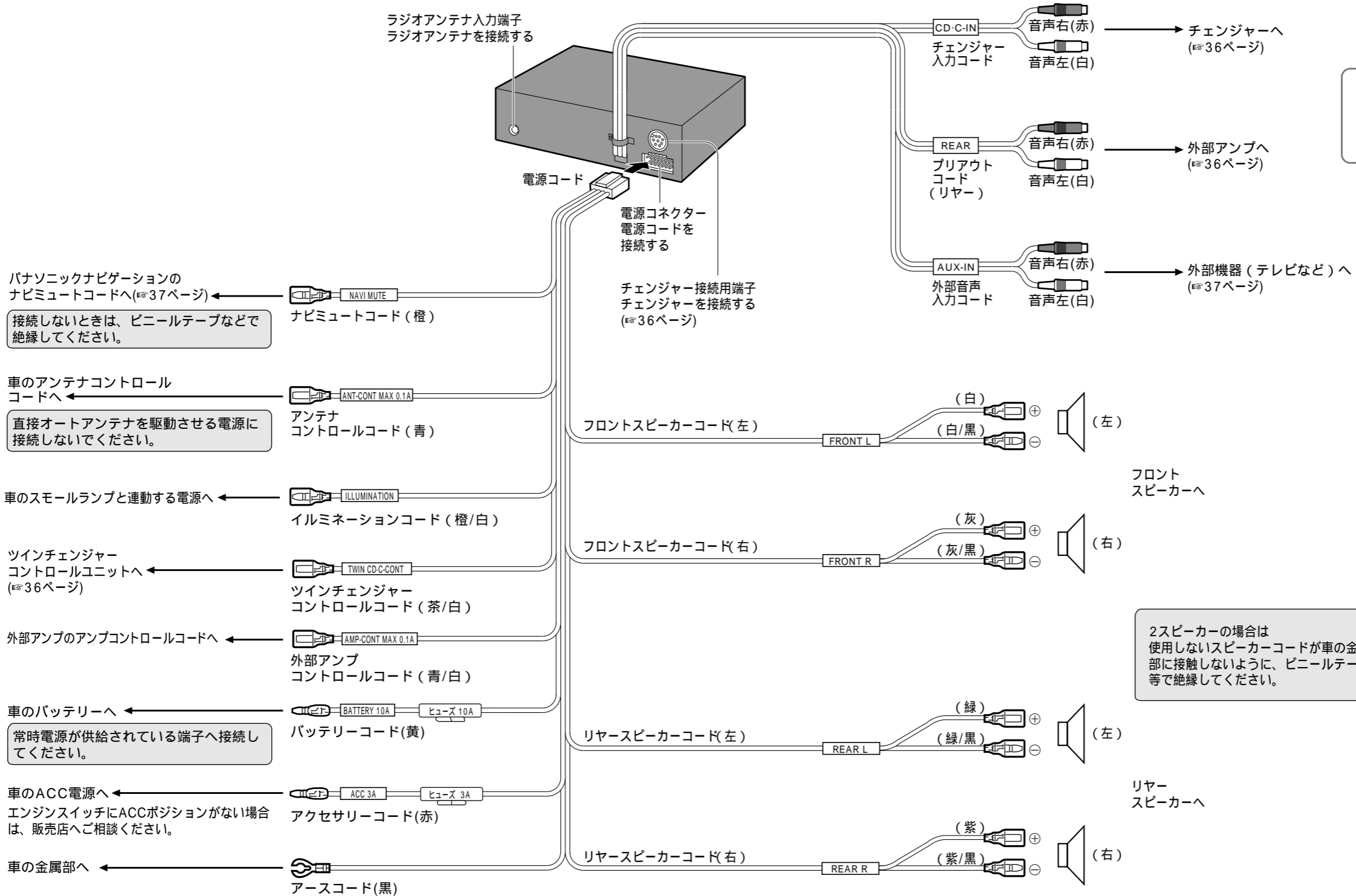
ブラケットが不安定な場合にはスペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



必要なきに

# 配線のしかた

## 基本配線 (付属コードの接続)



必要なときに

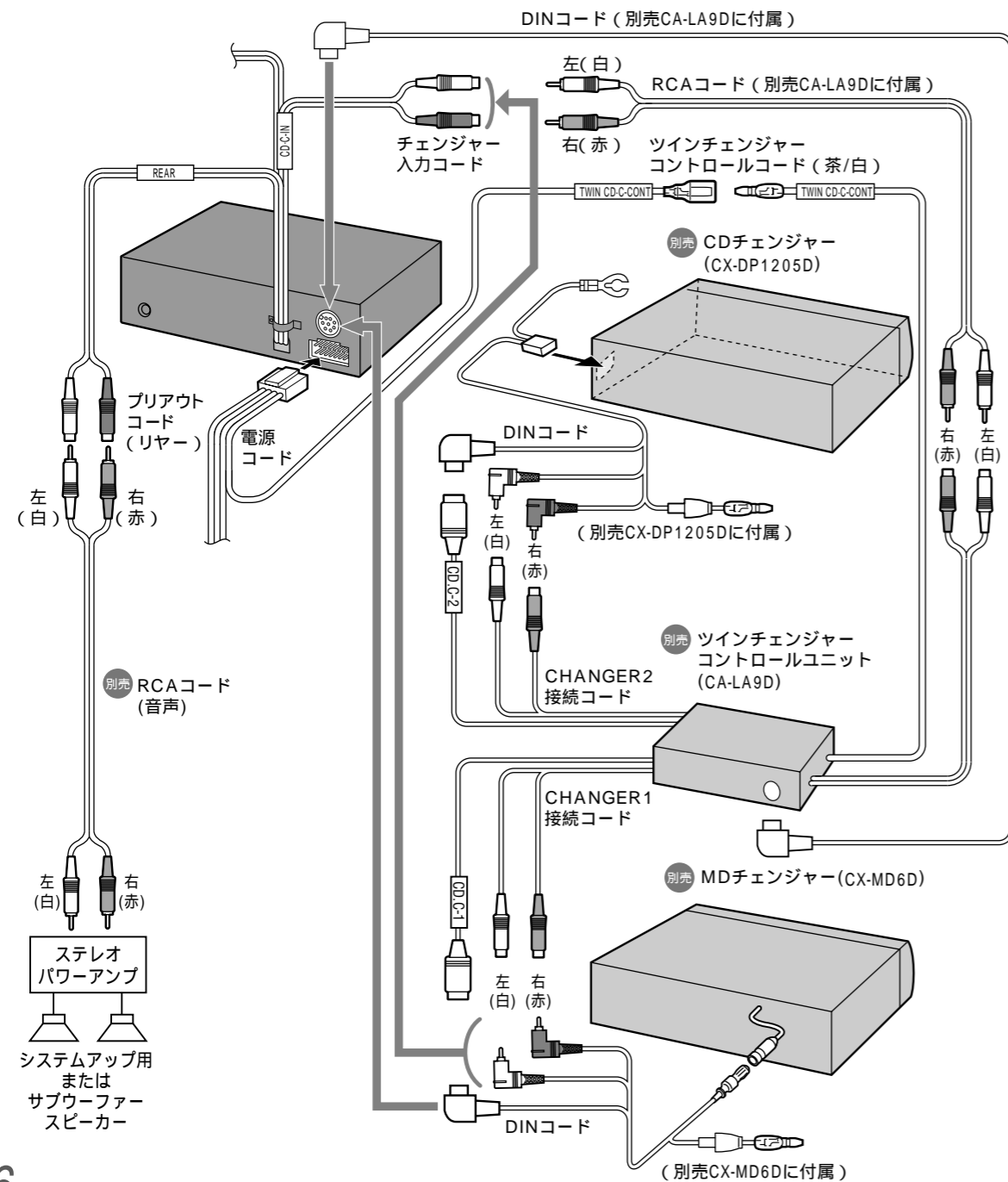
# 配線のしかた

## チェンジャー、外部アンプを接続する

接続したチェンジャー、外部アンプの取扱説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)、MDチェンジャー (CX-MD6D)

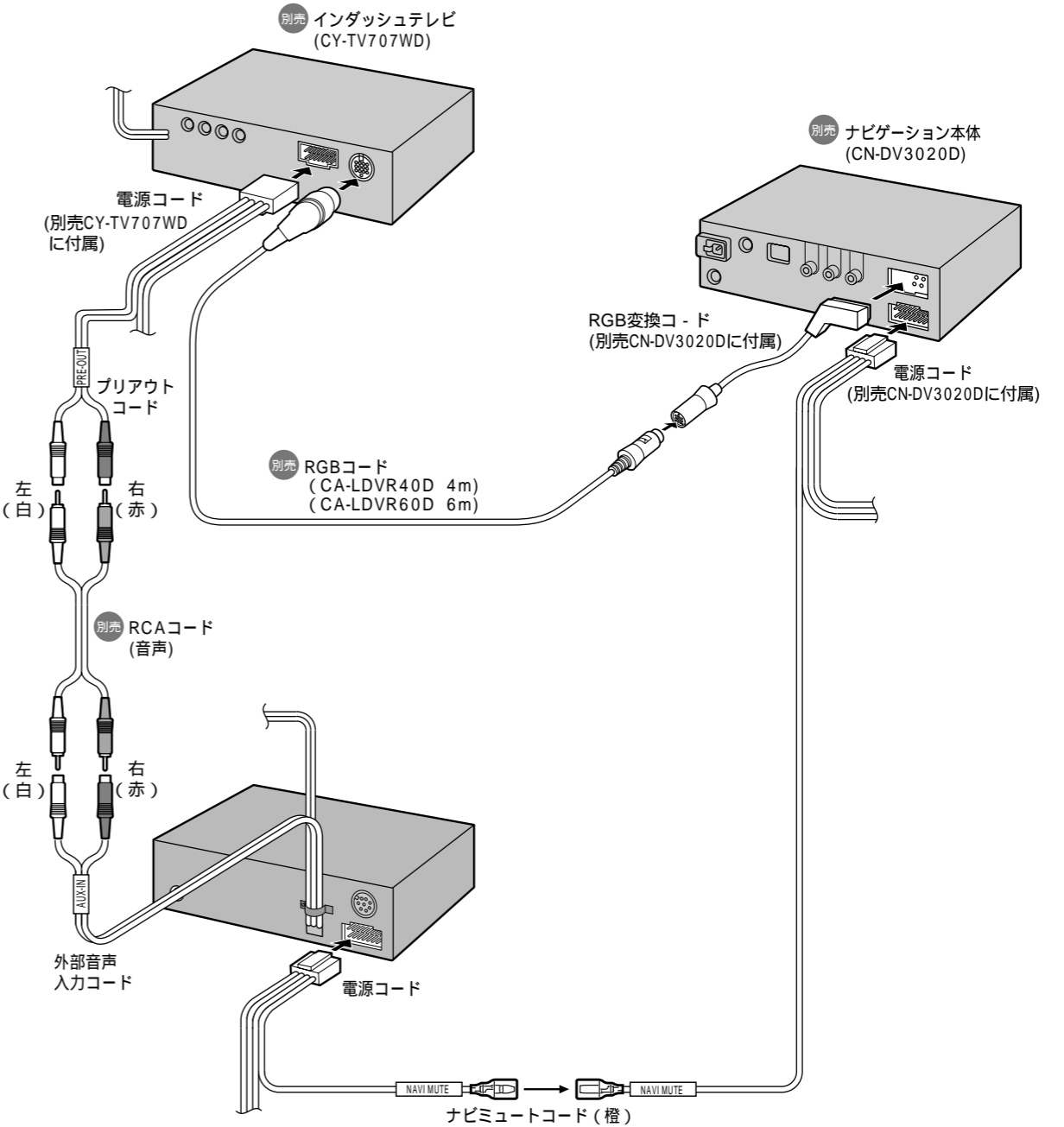
2台接続する場合には、別売のツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。  
1台の場合は、太線 (————) のように接続してください。(例: MDチェンジャー)



## ナビゲーション、インダッシュテレビを接続する

接続したカーナビゲーション、インダッシュテレビの取扱(取付)説明書も、併せてご覧ください。

例) DVDカーナビゲーションシステム (CN-DV3020D)、インダッシュテレビ (CY-TV707WD)



必要なときに

# 仕様

# アフターサービスについて

## 共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 8.5 A 以下 (MD または CD 動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4 )
最大出力	: 40 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k
音声入力感度	: 600 mV
プリアウト出力電圧	: 2 V
プリアウト出力インピーダンス	: 600 以下
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 150 (mm)
質量	: MR5000 1.4 kg RX5000 1.5 kg

## FM チューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N 比 (MONO)	: 70 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz ± 3 dB
ステレオ分離度	: 42 dB (1 kHz)
実効選択度 (± 400 kHz)	: 75 dB

## AM チューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 27 dBf
イメージ妨害比	: 65 dB

## MD プレーヤー部 (MR5000 のみ)

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

## CD プレーヤー部 (RX5000 のみ)

チャンネル数	: 2 チャンネル
復号化	: 16 ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

本機は、ドルビーラバトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

NAVI は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

## 修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

## 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

## 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...  
お買い上げの販売店 または  
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ

その他のお問い合わせは...  
「お客様相談室」へ

## お客様相談室

0120-50-8729

フリーダイヤル (料金無料)  
受付 9:00 ~ 17:00  
(土・日・祝祭日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-MR5000D CQ-RX5000D
販売店名	☎ ( )	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ( )	-	

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283616 B0900-0